

かもまるくん  
ですっ。



加賀市標章

石川県教育支援センター

# やすらぎ加賀通信

第102号 2015/3/9

今季は日本海の海水温が高く、例年に比べると、湿った雪が多く降りましたね。木々もさぞかし重たかったでしょう。今年の春は新幹線とともにやって来ますね。楽しみです。

「春はおのずから往来し・・・」と古の人の言葉にあります。今年も出会いと別れの季節になりました。2月から通室生が1名増え3名になりました。やすらぎ教室の通室生にとっても新たな一年になり、自信を持って一步を踏み出せる年になってくれればと願っております。

	来室相談	訪問相談	電話相談	合計	通室生徒
2月	13	7	16	36	3
3月	3	0	2	5	3

※春休み 3/25(水)～4/7(火)  
ただし通室生のみです。

**相談はOKです。**

3月は3月6日現在データです。

## 室長 ごあいさつ

早いもので、平成26年度ももう終わりに近づいています。今年度も関係機関のご支援を得て、事例研究会やフレンドシップ事業（加賀メンタルフレンド）などに取り組んできました。

研究協議を通じて児童生徒の現状を理解しながらも、なかなか解決の糸口にたどり着けないもどかしさに、教育相談の難しさを痛感するとともに、やすらぎ教室の必要性を再認識する1年間でした。

ご支援いただいた皆様に、心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました。

なお、室長は本年度末で定年退職となります。永年にわたり本当にお世話になりました。

『やすらぎ加賀教室一同』

## アッキーの つぶやき

私自身この1年を振り返り多くの子供達、親御さんそして先生たちとの出会いを頂き、その出会いが私を育てて下さったことに感謝している次第です。人の気持ちは、コロコロ、ゆらゆら定まるところを知りません。今後もそんな気持ちに寄り添いながらその人らしい良さを一緒に見つけていきたいと願っております。1年間ありがとうございました。



天気の良い日には通室生と公園を散歩する日もありましたが、時には雪になりそんな日に限って教室の大掃除日に当たり、クレーン車で外の窓拭きが行われました。「働くお父さん」という感じでした。子ども達もたくましくなってもらいたい。

また、担任の先生を交えて今後の相談や、家から出てやすらぎ教室



見学に訪れた家族もあり、春に向けて少しずつ動きが出てきました。



## メンタルフレンド活

12回の活動を終えて先日反省会を行いました。やすかかのスタッフ・金沢大学の担当教官・当該校担当者を交えてボランティア活動をふり返りました。室長から差し入れもあり、和やかな雰囲気の中厳しい本音のトークもあり実り多いふり返りとなりました。



### メンタルフレンド（学生）の感想

- ・ このボランティアでの貴重な経験と学びを来年度からは現場で生かしていきます！ 【Aさん】
- ・ 昨年度に引き続き活動に参加させていただきました。今年度も生徒さんとの素敵な出会いに恵まれ、たくさんのパワーをもらおうと同時に、たくさんのことを学ばせていただきました。今回交流させていただいた生徒さんたちが輝かしい未来へ羽ばたいていけることを心から願っています。 【Bさん】
- ・ やすらぎ教室は、ゆったりとした時間の流れや雰囲気が素敵な場所でした。関わることができて本当に良かったです。ありがとうございました。 【Cさん】

### やすらぎ教室より

一年を振り返ってみると実に様々なことがありました。数回にわたる事例検討会はもちろんのこと、昨年7月の小松保健所長・沼田先生による「いじめ問題に関する児童・生徒理解研修会」が学ぶところが多く印象に残っています。また、金沢大学の学生ボランティアによる「加賀メンタルフレンド」の活動は特に印象深く、今年も熱意あふれる学生4名が真っ直ぐに児童・生徒に関わってくれました。学生さんやお世話になった先生方、子どもたちの声からこの活動の本当の意味を学んだ気がします。それは関わりの大切さです。「人の心は人で治す」スーパーバイザーの土田先生の言葉を思い出しました。